

2024年度 学修に関する アンケート調査結果報告

2025.7.1 IR室

2024年度学修に関するアンケート

■調査対象

- ・ 2024年度在学生全員(614名、3月末時点)

■調査方法

- ・ 湘北ポータルでURLを送付し、パソコン・スマホを利用してGoogle Formで回答を受け付ける

■調査時期

- ・ 2025年2月20日～同3月4日

■回答数

- ・ 回答数185 回答率 30.1%

2024年度学修に関するアンケート

■2年生回答数

学科	回答人数	在籍数	回答率
総合ビジネス・情報学科	39	157	24.8%
生活プロデュース学科	24	61	39.3%
保育学科	14	93	15.1%
計	77	311	24.8%

■1年生回答数

学科	回答人数	在籍数	回答率
総合ビジネス・情報学科	40	144	27.8%
生活プロデュース学科	35	73	47.9%
保育学科	33	86	38.4%
計	108	303	35.6%

回答数内訳(2年生)

学科	コース・フィールド	回答数
総合ビジネス・情報	ビジネス情報	14
	経理・金融	2
	ショップマネジメント	5
	オフィスワーク	4
	観光ビジネス・観光	3
	観光ビジネス・留学	0
	プログラミング	7
	メディアデザイン	4
総合ビジネス・情報 集計		39
生活プロデュース	ファッション	3
	フード	1
	インテリアデザイン	3
	子どもサービス	5
	医療事務・情報	12
生活プロデュース 集計		24
保育	保育	14
総計		77

回答数内訳(1年生)

学科	コース・フィールド	回答数
総合ビジネス・情報	ビジネス情報	17
	経理・金融	5
	ショップマネジメント	1
	オフィスワーク	3
	観光ビジネス・観光	2
	観光ビジネス・留学	1
	プログラミング	5
	メディアデザイン	6
総合ビジネス・情報 集計		40
生活プロデュース	ファッション	7
	フード	6
	インテリアデザイン	3
	子どもサービス	10
	医療事務・情報	9
生活プロデュース 集計		35
保育	保育	33
総計		108

調査結果の活用・公表について

- 集計結果を教務委員会、教育課程審議会、教授会等で報告し、教育活動の改善に反映させる。
- 本学WEBサイトで公表する。

学科別「学修成果」 の成長実感

設問について

■学修に関するアンケート調査

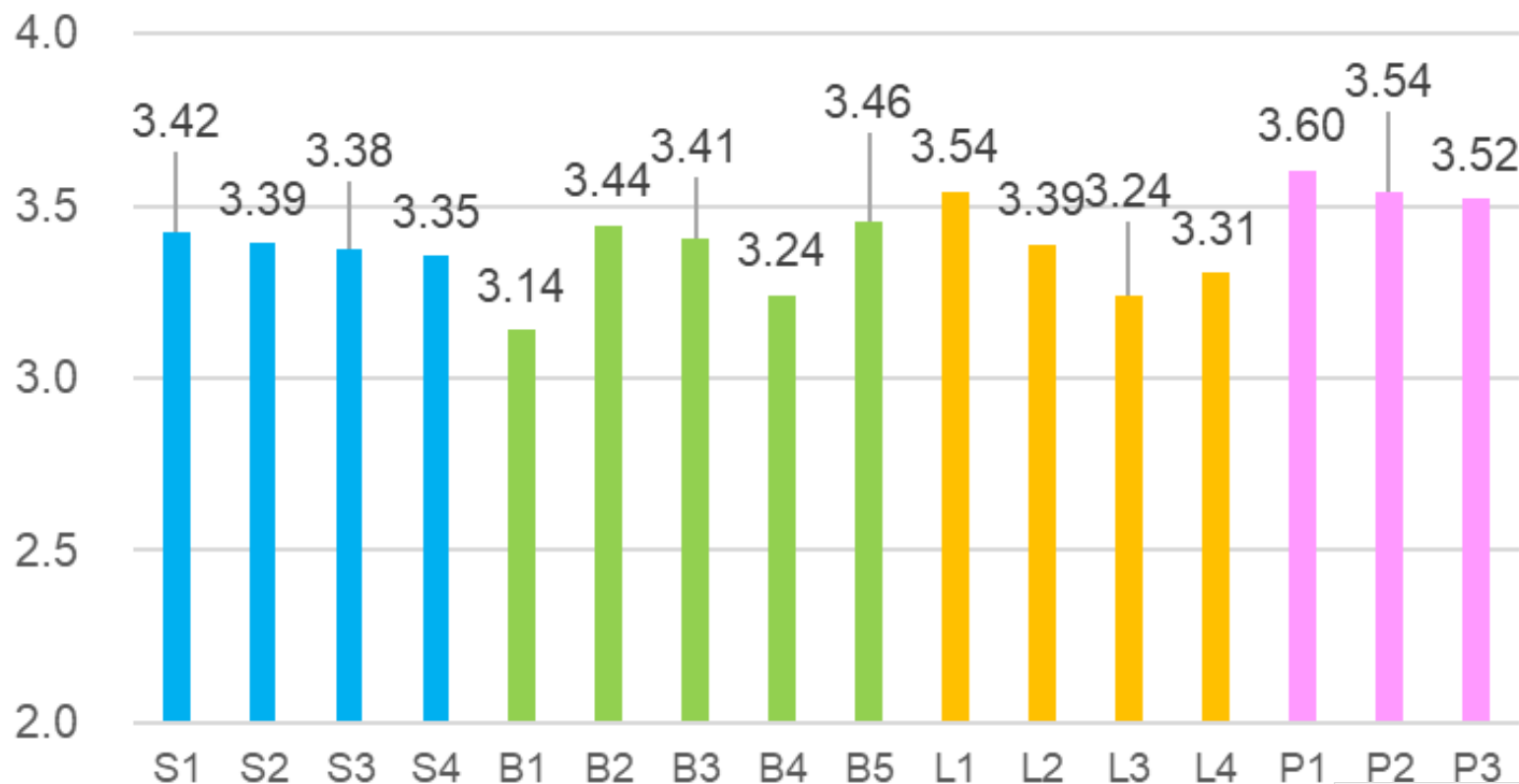
学科及びコース・フィールドの「学修成果」について、どの程度身に付いた実感があるか

選択肢	点数
身に付いた	4点
どちらかというと身に付いた	3点
どちらかというと身に付かなかった	2点
身に付かなかった	1点

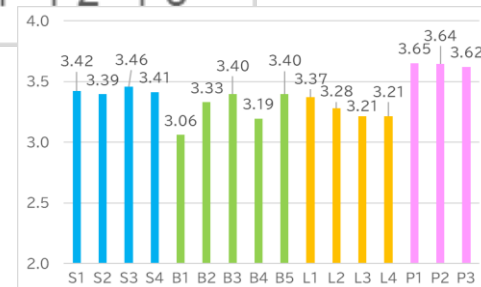
「学修成果別成長実感」の平均値(大学全体・学科)

身についたかどうかの自己評価(4段階)

大学・学科の学修成果(平均値)



前年



- 昨年度の調査から有意な変化があった項目はなかった

「学修成果別成長実感」の平均値(大学全体・学科)

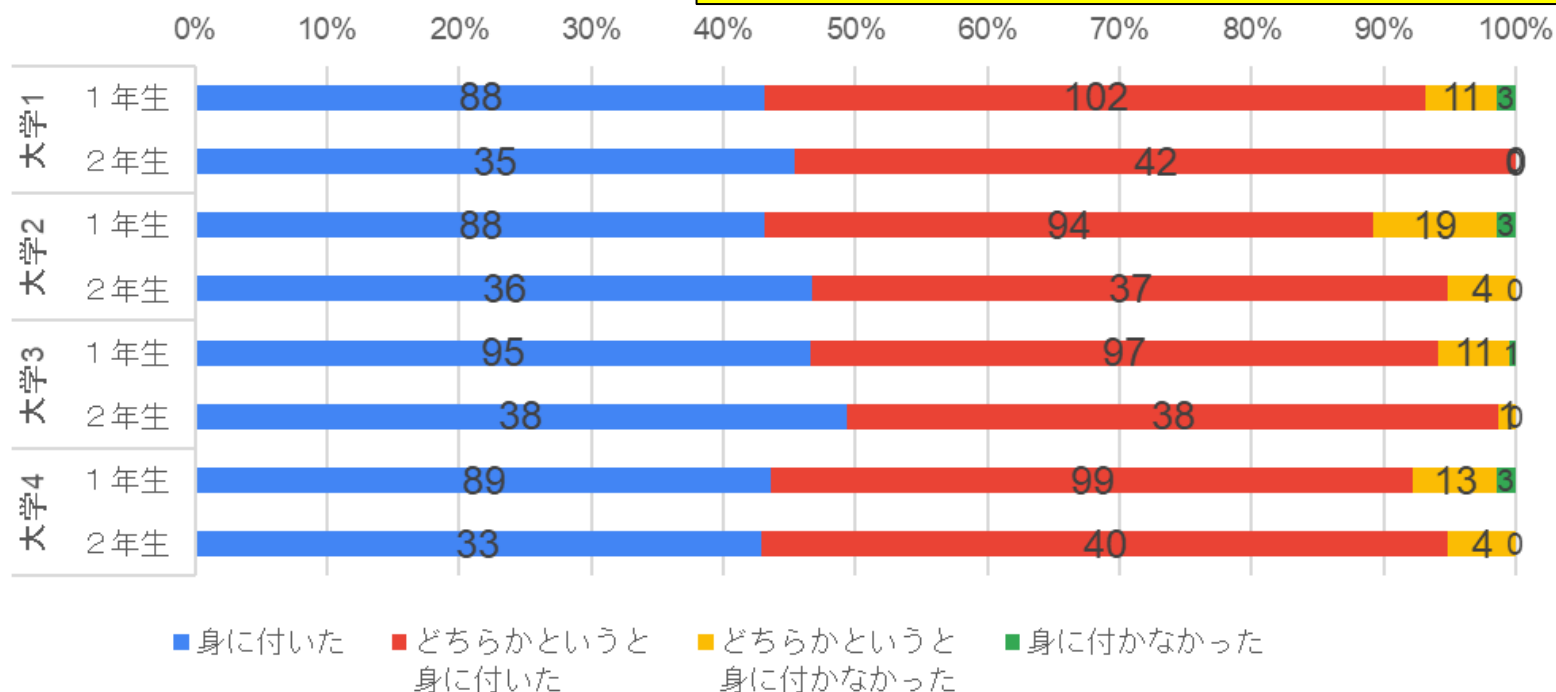
身についたかどうかの自己評価(4段階)

学修成果	平均値	前年	差数	TTEST	2024n	2023n
S1	3.42	3.42	0.00	0.96	186	393
S2	3.39	3.39	0.00	0.97	186	393
S3	3.38	3.46	-0.08	0.12	186	393
S4	3.35	3.41	-0.06	0.26	186	393
B1	3.14	3.06	0.08	0.45	79	149
B2	3.44	3.33	0.11	0.16	79	149
B3	3.41	3.40	0.01	0.91	79	149
B4	3.24	3.19	0.05	0.62	79	149
B5	3.46	3.40	0.06	0.44	79	149
L1	3.54	3.37	0.17	0.06	59	75
L2	3.39	3.28	0.11	0.31	59	75
L3	3.24	3.21	0.02	0.83	59	75
L4	3.31	3.21	0.09	0.37	59	75
P1	3.60	3.65	-0.05	0.57	48	169
P2	3.54	3.64	-0.10	0.22	48	169
P3	3.52	3.62	-0.10	0.23	48	169

- 昨年度の調査から有意な変化があった項目はなかったが、P学科では全項目でやや低下

「学修成果別成長実感」の回答構成比

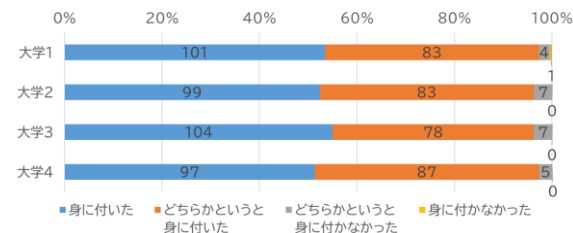
身についたかどうかの自己評価(4段階)



■身に付いた ■どちらかという身に付いた ■どちらかという身が付かなかった ■身が付かなかった

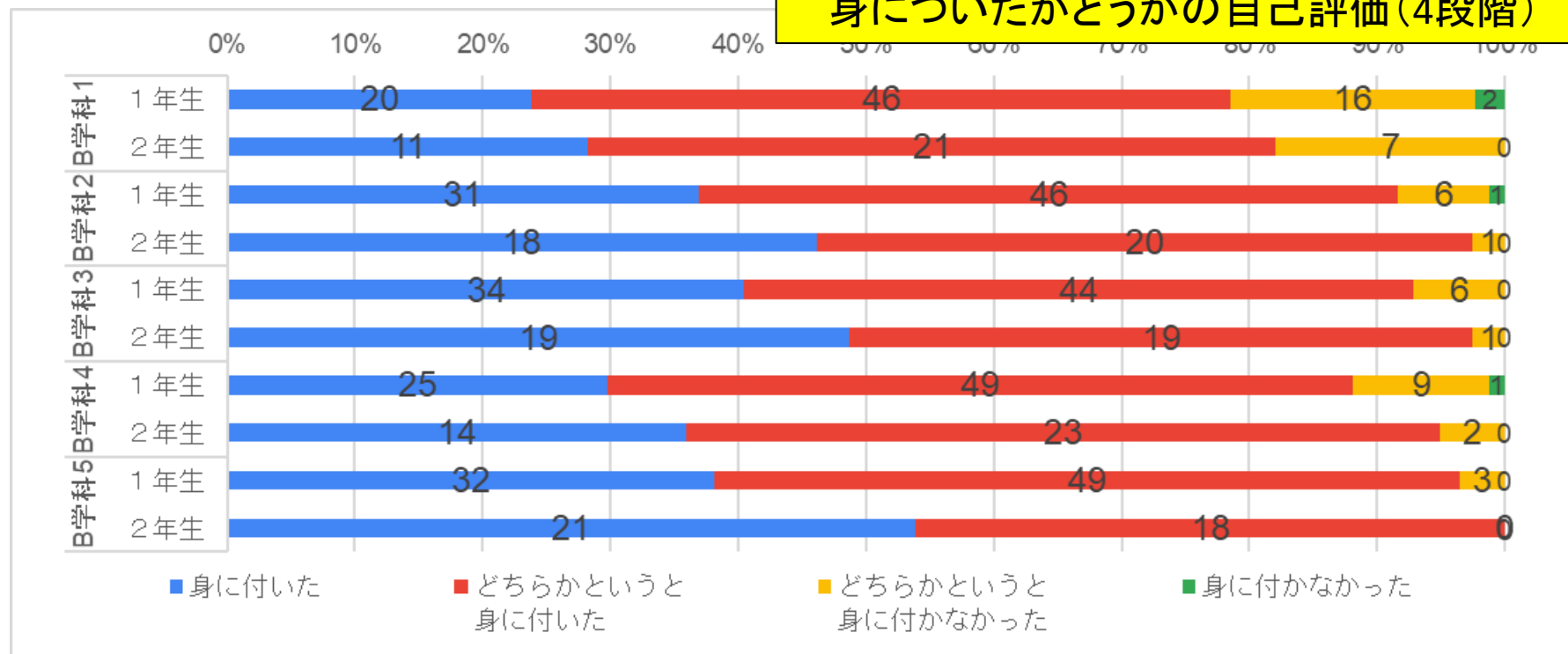
S1	各分野の専門的な知識・技能を身につけており、論理的に思考し、問題解決方法を導くことができる。
S2	コミュニケーション能力や数量的能力、情報リテラシー等を適切に用いて自分の言葉で表現することができる。
S3	社会で求められる態度や志向性を身につけ、多様な人々と協働しつつ主体的に決断し実行することができる。
S4	身につけた知識・技能・態度等を総合的に活用し、新たな課題解決に取り組むことができる。

前年



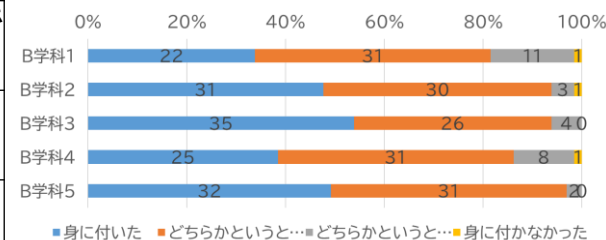
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



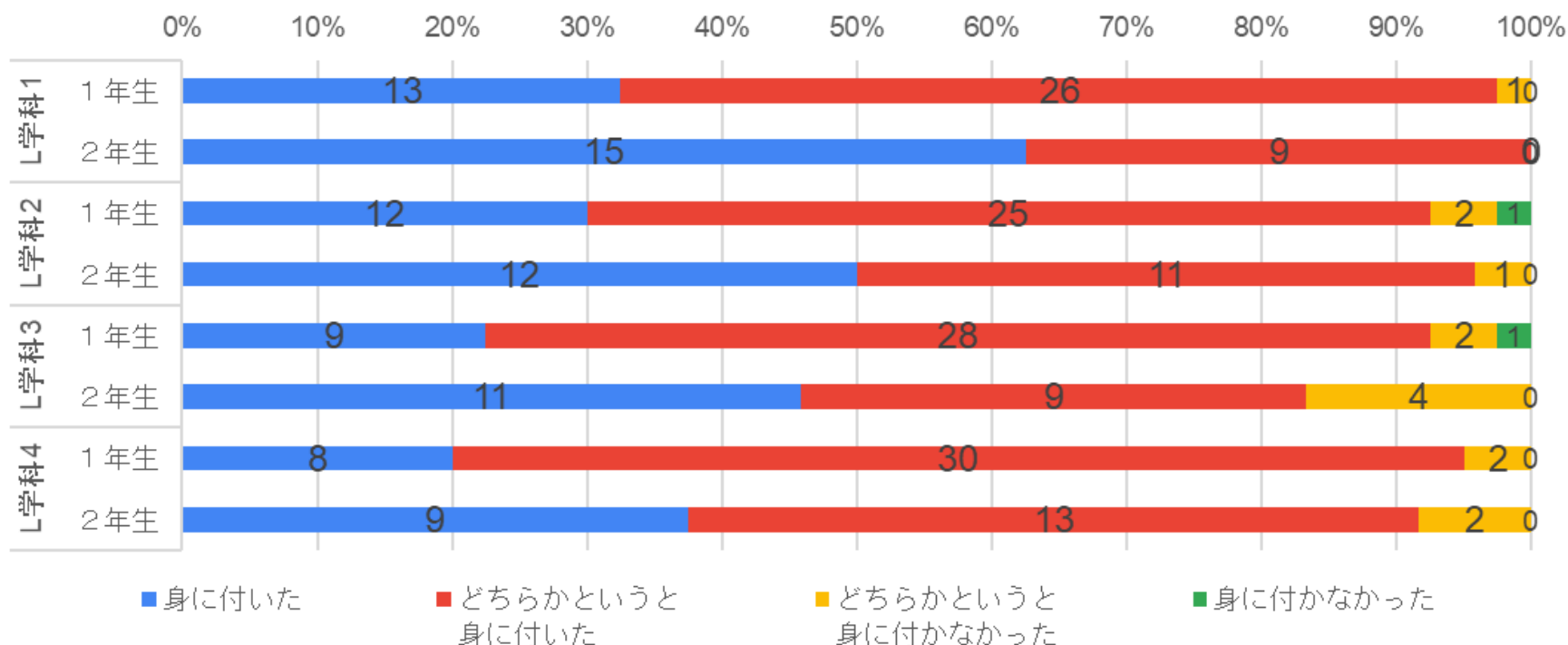
B1	企業や組織の仕組み、金融、流通に関わる専門的な知識を適切に活用することができる。
B2	各コースが目指す業種・職種に関わる専門的な知識・技能を適切に活用することができる。
B3	ビジネスに必要なコミュニケーション能力を適切に活用することができる。
B4	情報化されたビジネス社会に必要なITスキルを適切に活用することができる。
B5	ビジネスに必要な主体性、柔軟性、規律性、社会マナーをもって行動することができる。

前年



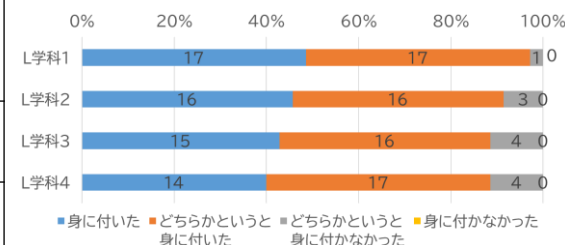
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



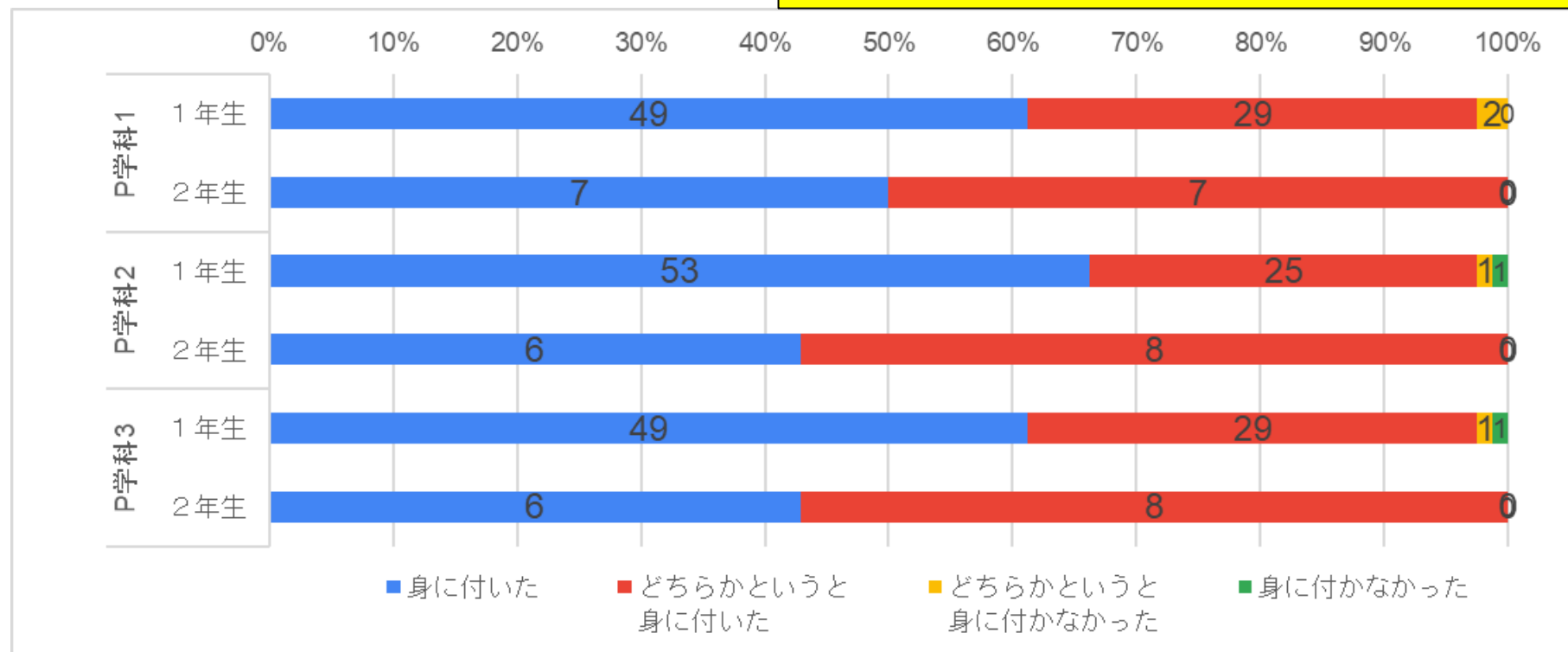
- L1 ・生活に関連する分野の専門知識と基礎技能を習得している。
- L2 ・社会人として必要なコミュニケーションを円滑に行うことができる。
- L3 ・自立した女性として多様な社会で活躍できる。
- L4 ・身につけた知識・技能・態度等を総合的に活用し、生活やビジネスに関わる課題解決に取り組むことができる。

前年



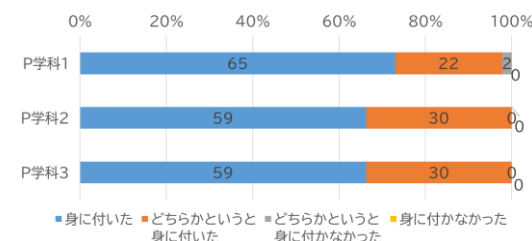
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



P1	社会人として必要とされる知識・能力・態度等を習得している。
P2	保育の内容・方法に関する知識や技能を習得し、さらに実践的に活用することができる。
P3	保育に関する学びを発展的に深めながら、将来に向けて自ら設定した課題へ主体的・実践的に取り組むことができる。

前年

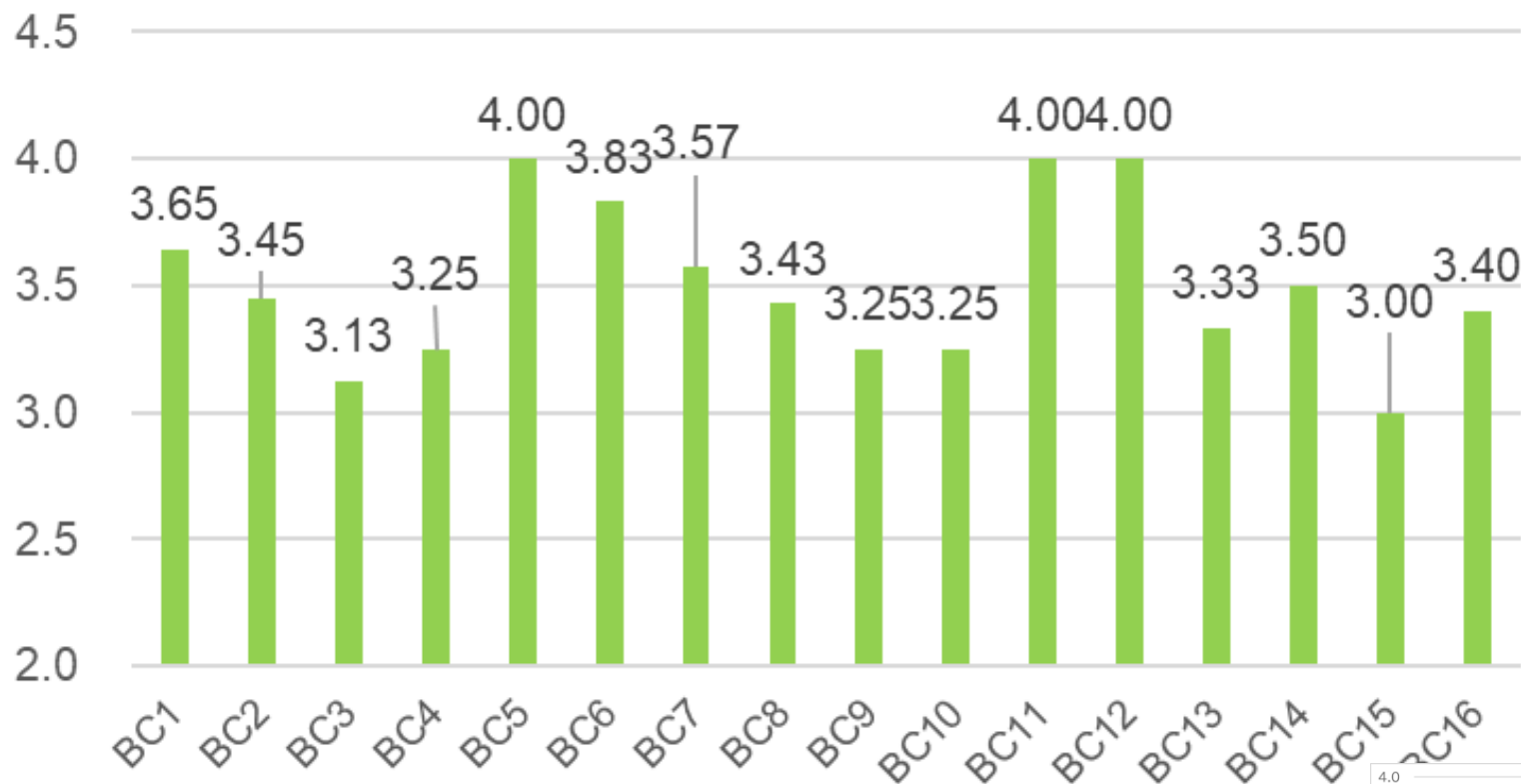


コース・フィールド別 「学修成果」の成長実感

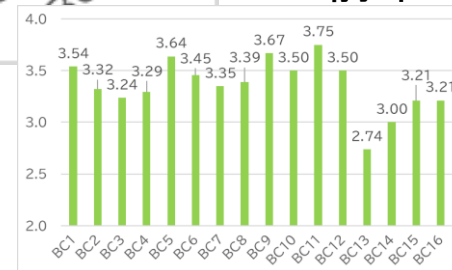
「学修成果別成長実感」の平均値(B学科)

身についたかどうかの自己評価(4段階)

B学科学修成果 (平均値)



前年



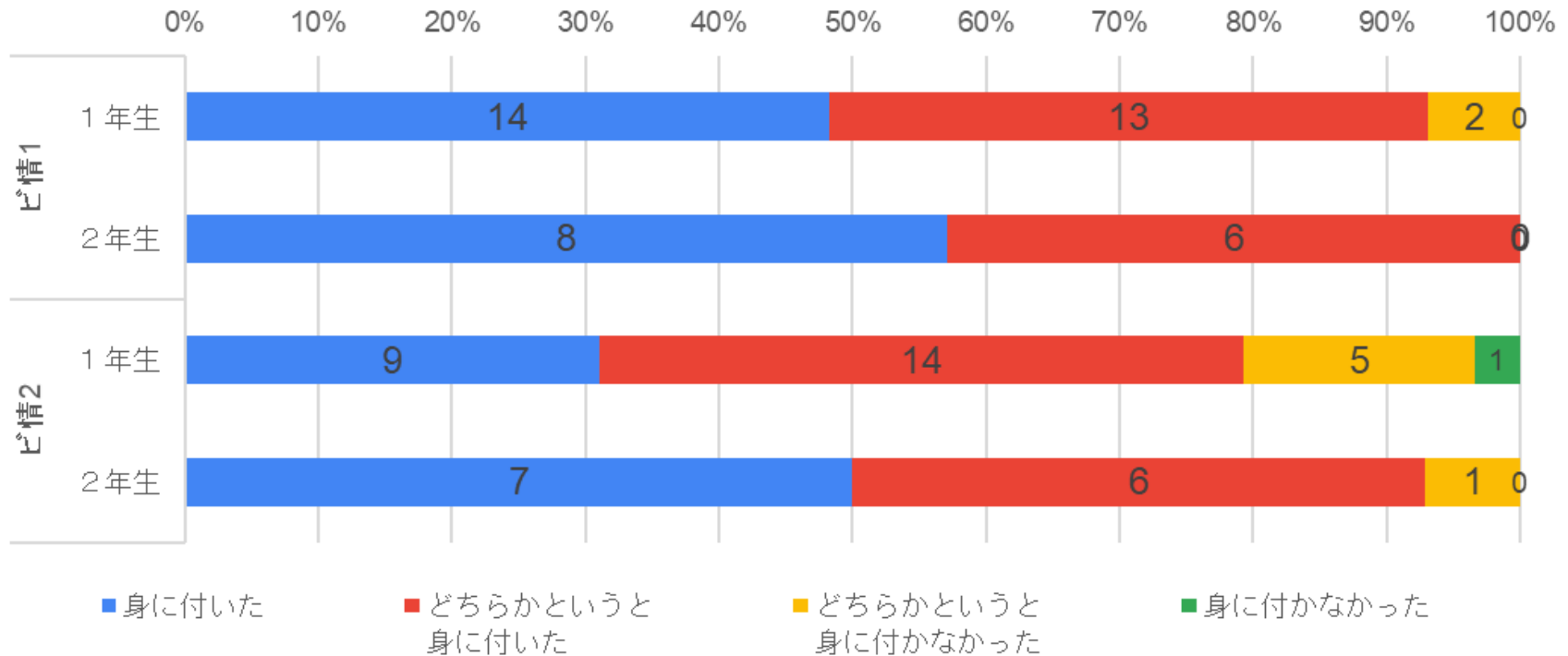
「学修成果別成長実感」の平均値(B学科)

身についたかどうかの自己評価(4段階)

学修成果	平均値	前年	差数	2024n	2023n
BC1	3.65	3.54	0.11	31	50
BC2	3.45	3.32	0.13	31	50
BC3	3.13	3.24	-0.11	8	17
BC4	3.25	3.29	-0.04	8	17
BC5	4.00	3.64	0.36	6	11
BC6	3.83	3.45	0.38	6	11
BC7	3.57	3.35	0.22	7	23
BC8	3.43	3.39	0.04	7	23
BC9	3.25	3.67	-0.42	4	6
BC10	3.25	3.50	-0.25	4	6
BC11	4.00	3.75	0.25	1	4
BC12	4.00	3.50	0.50	1	4
BC13	3.33	2.74	0.60	12	19
BC14	3.50	3.00	0.50	12	19
BC15	3.00	3.21	-0.21	10	19
BC16	3.40	3.21	0.19	10	19

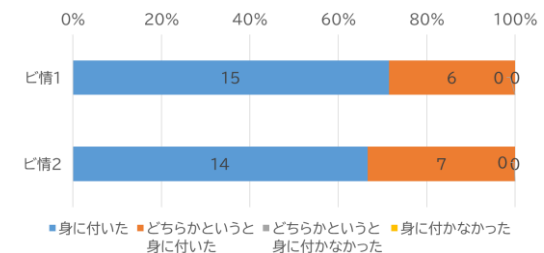
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



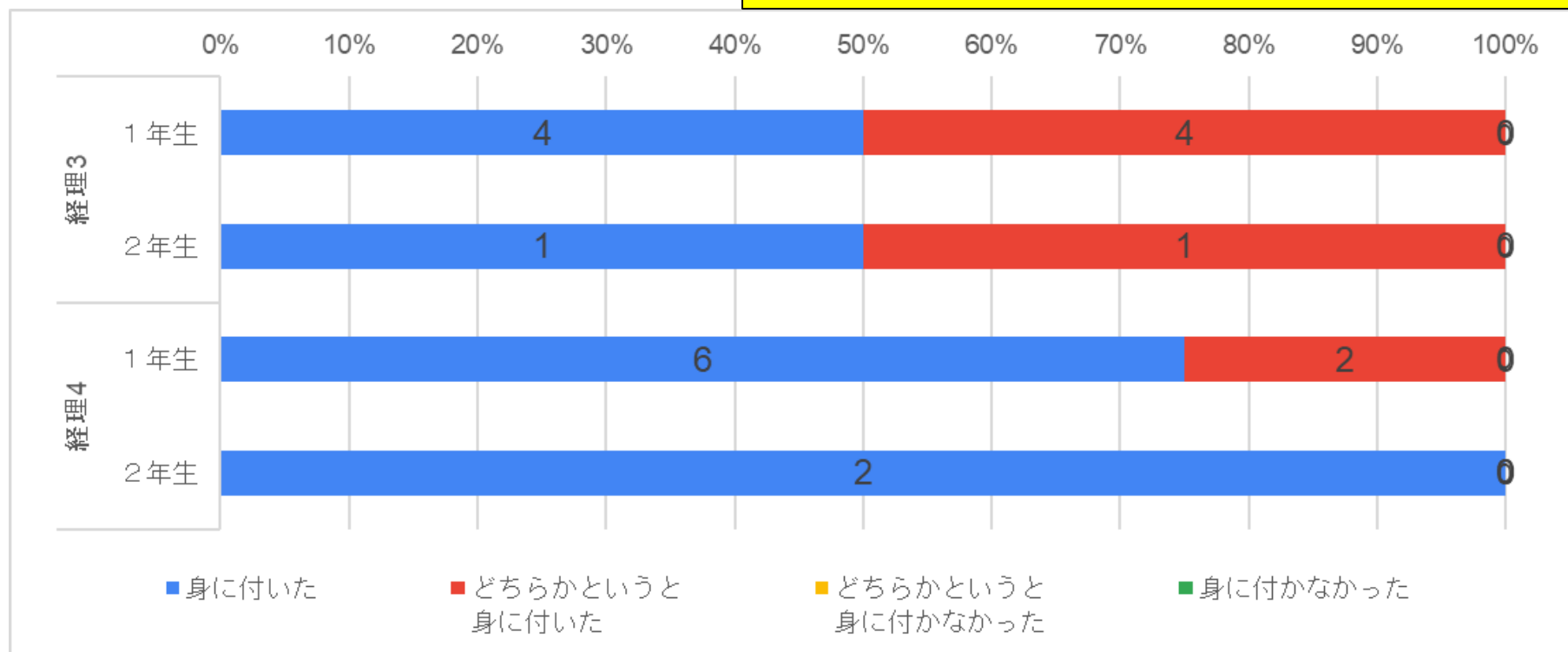
BC1	データ入力、資料作成など事務職に求められる技能と各種データを分析し発信する能力を適切に活用することができる。
BC2	「ビジネス能力検定」や「MOS」の取得に向けた学習を通して身につけたマネジメントに関する知識と高度なパソコンスキルを適切に活用することができる。

前年

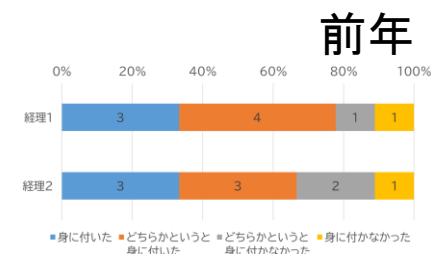


「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)

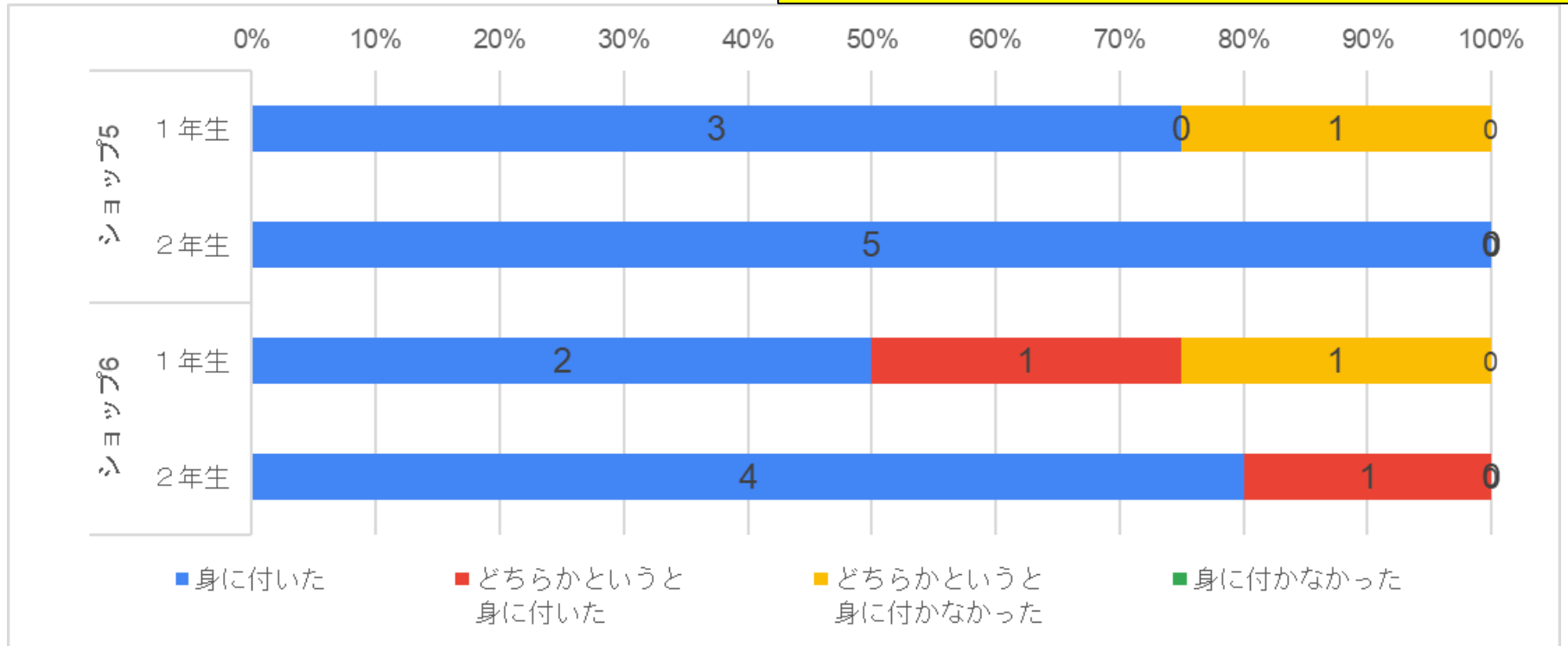


BC 3	資金運用・計画に関する専門的な知識と技能を適切に活用することができる。
BC 4	「簿記検定」や「ファイナンシャル・プランニング技能検定」の取得に向けた学習を通して身につけた経済に関する知識と高度な計算能力を適切に活用することができる。



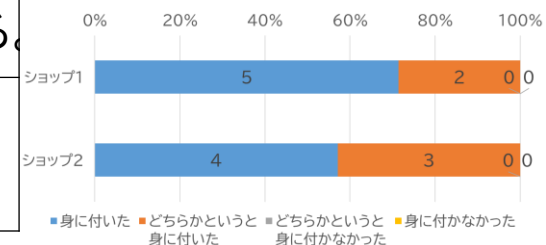
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



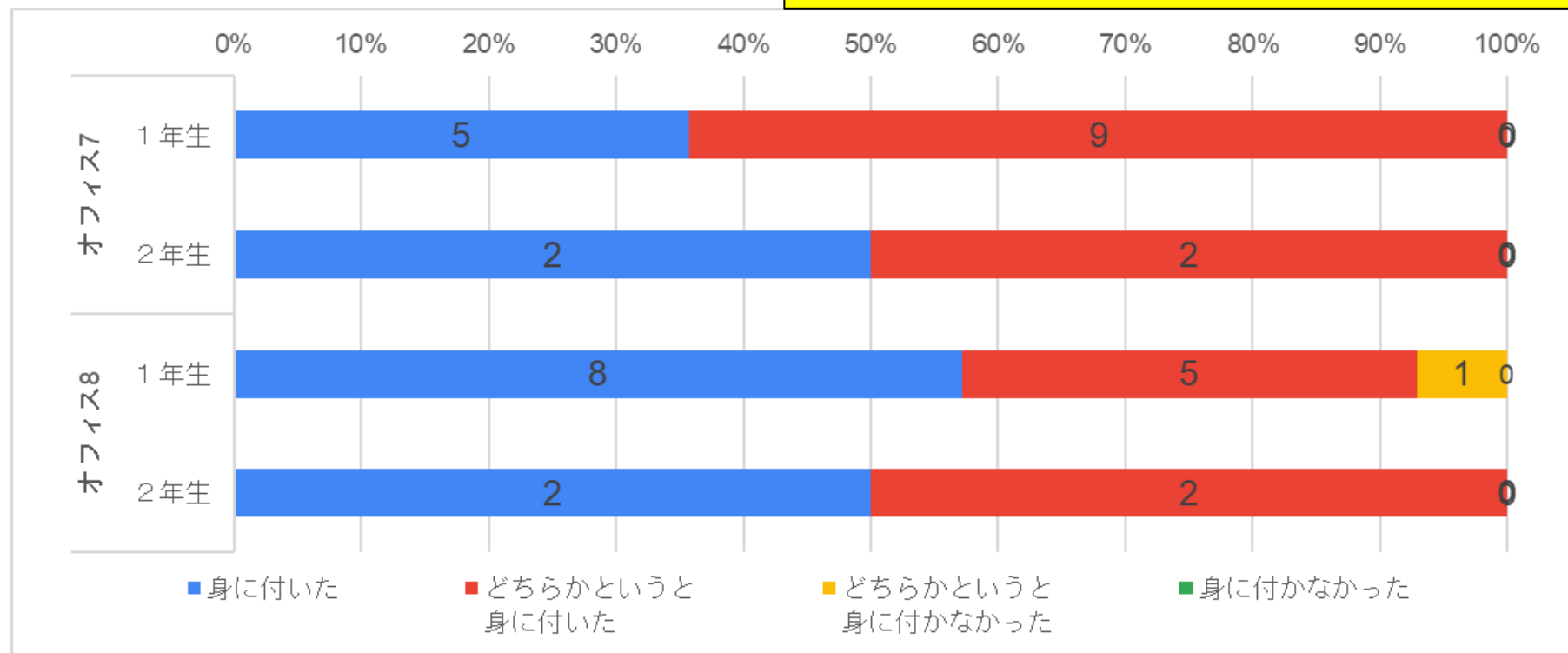
BC5	流通・販売業、各種サービス業、カウンター営業、ショップ経営などに求められる専門的な知識と技能を適切に活用することができる。
BC6	「リテールマーケティング(販売士)検定」や「サービス接遇検定」の取得に向けた学習を通して身につけたマーケティングに関する知識と高度な販売能力を適切に活用することができる。

前年



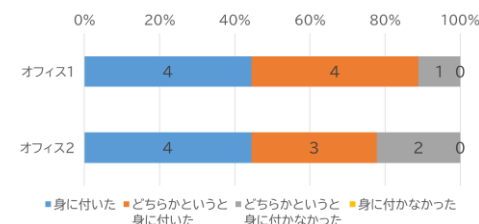
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



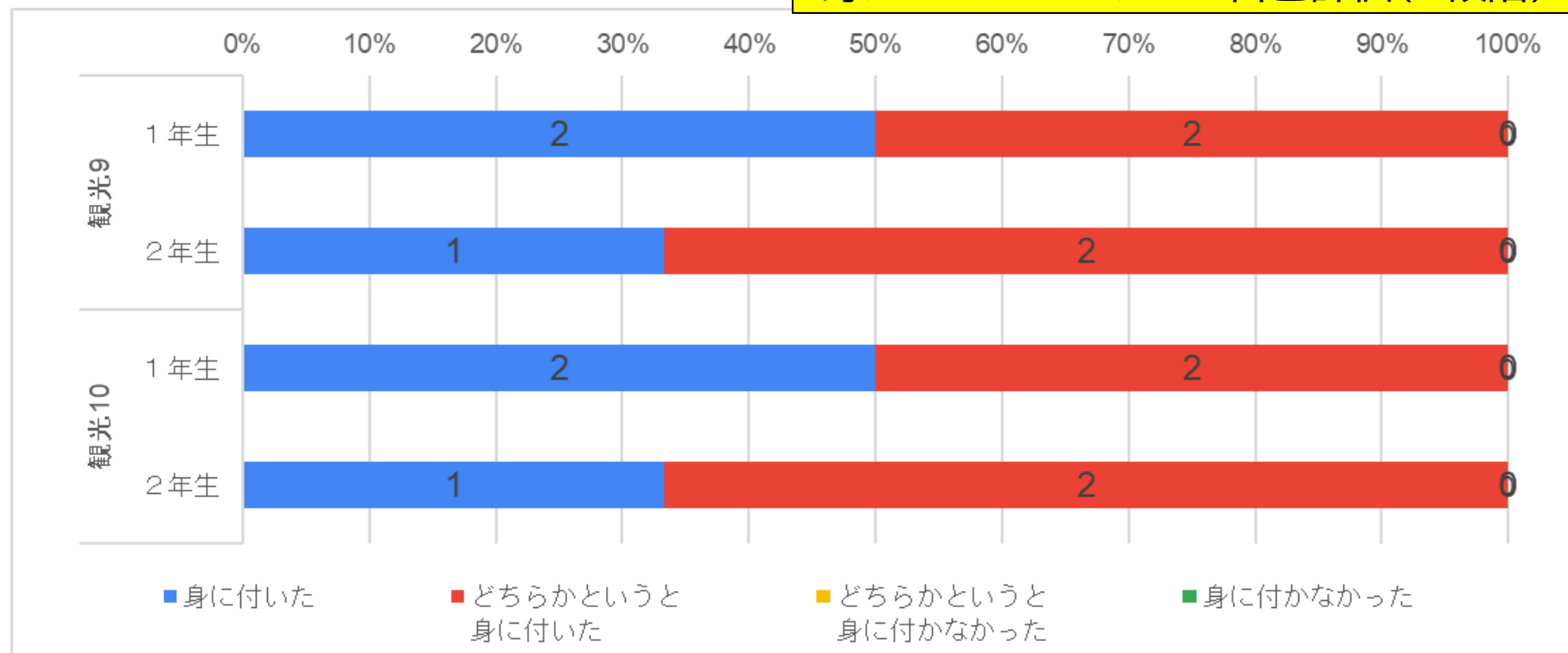
BC7	一般事務、受付・窓口業務、秘書などに求められる幅広い知識と多様な実践的能力を適切に活用することができる。
BC8	「秘書技能検定」や「コミュニケーション検定」の取得に向けた学習を通して身につけたビジネスに関する知識と高度なコミュニケーション能力を適切に活用することができる。

前年



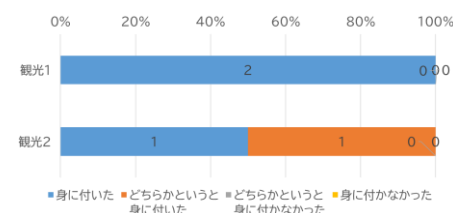
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



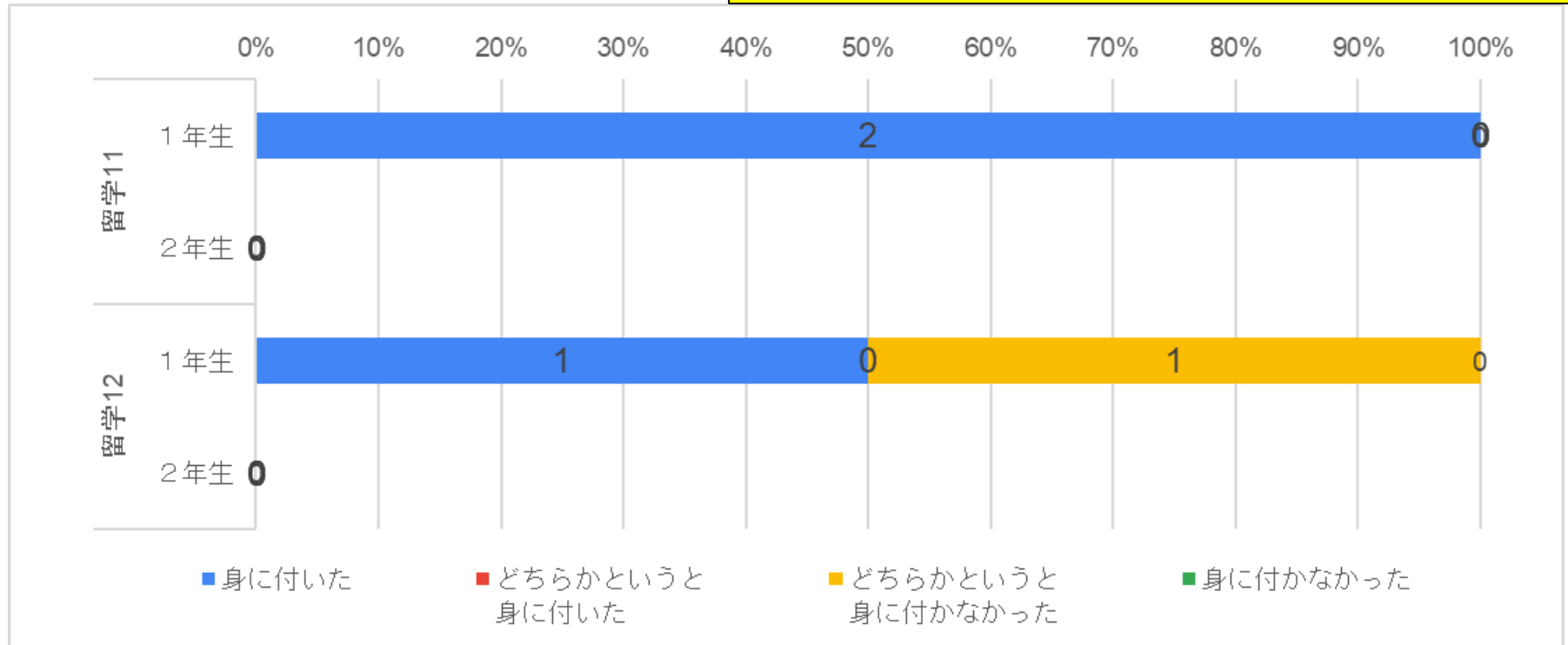
BC9	旅行代理店、ホテル、テーマパークなど、観光関連業界で求められる専門的な知識と語学力を適切に活用することができる。
BC10	「国内旅程管理主任者」や「国内旅行業務取扱管理者」の取得に向けた学習を通して身につけた観光ビジネスに関する知識と技能を適切に活用することができる。

前年



「学修成果別成長実感」の回答構成比

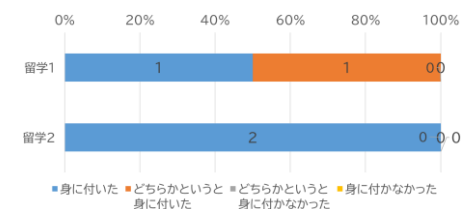
身についたかどうかの自己評価(4段階)



BC11 オーストラリア国立ニューカッスル大学への3ヶ月間の留学を通して身につけた国際感覚と実践的な英語力を適切に活用することができる。

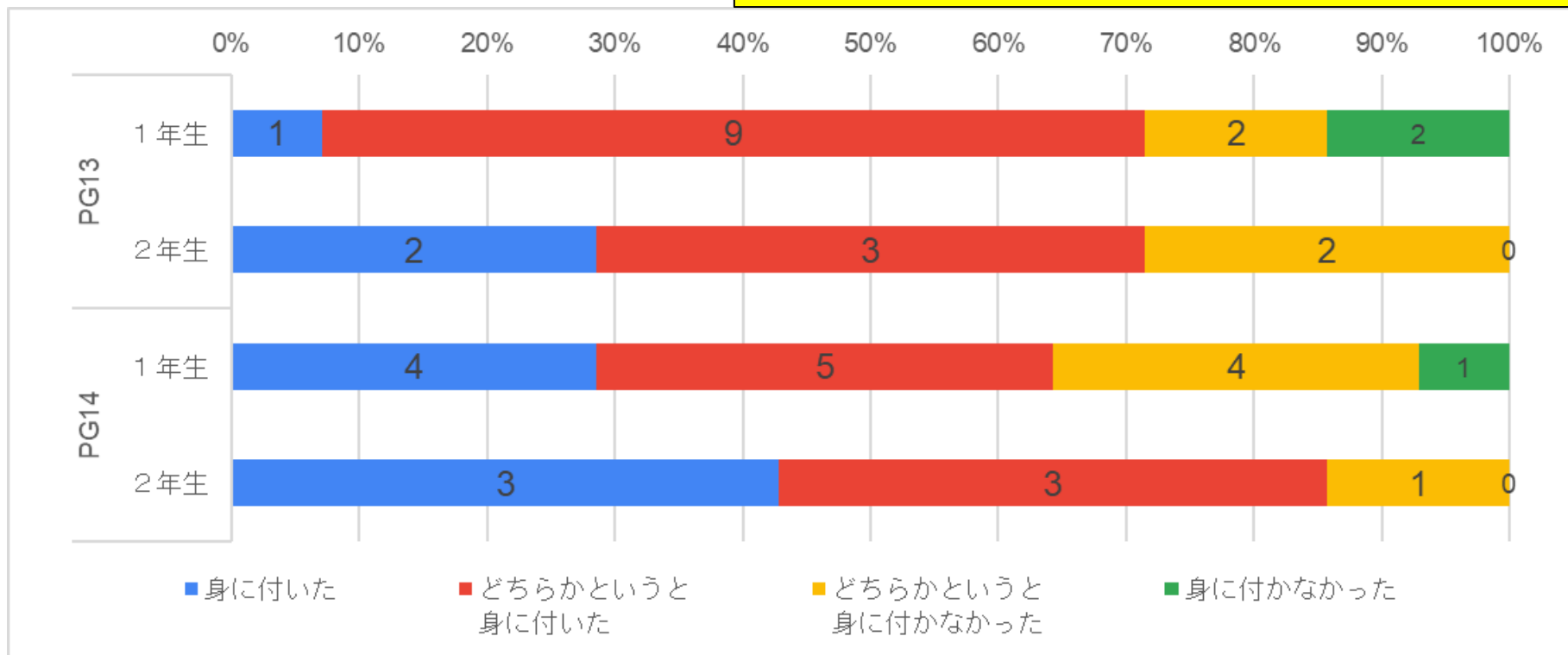
BC12 「国内旅程管理主任者」や「国内旅行業務取扱管理者」の取得に向けた学習を通して身につけた観光ビジネスに関する知識と技能を適切に活用することができる。

前年



「学修成果別成長実感」の回答構成比

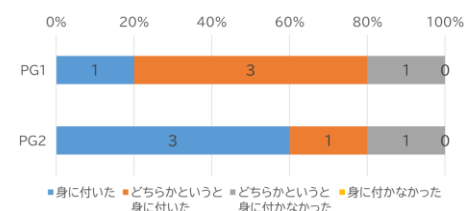
身についたかどうかの自己評価(4段階)



BC13 システムエンジニアやプログラマに求められるITスキルを適切に活用することができる。

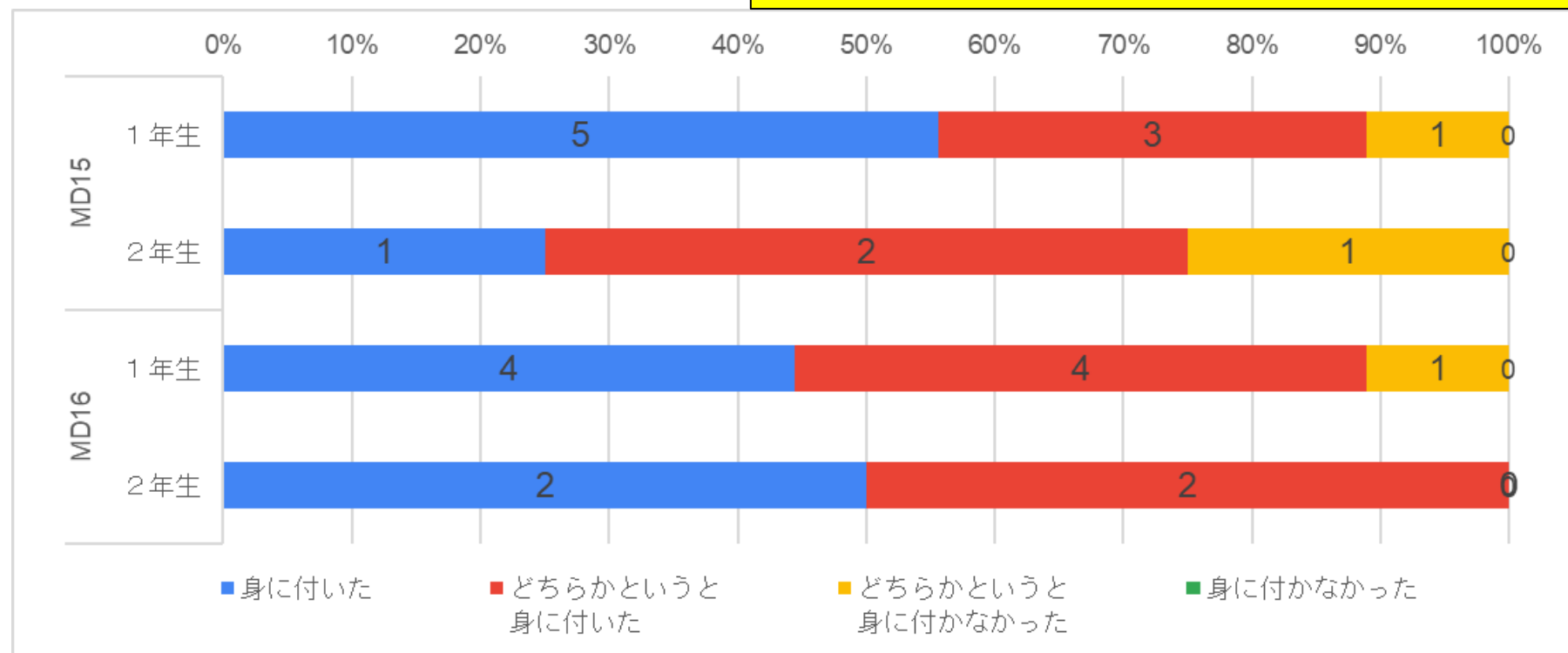
BC14 フィールドの専門的学習を通して身につけたIT機器とソフトウェアを駆使する能力及び協働して課題解決に取り組むコミュニケーション能力を適切に活用することができる。

前年



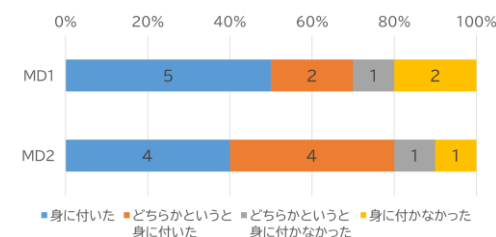
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



BC15	WEB、CG、映像などのメディアデザインの素養、ITを活用するコラボレーション能力、PCトラブルに対応できるサポート技能を適切に活用することができる。
BC16	フィールドの専門的学習を通して身につけたインフォグラフィックスなどビジュアルを用いた情報伝達の知識と技能を適切に活用することができる。

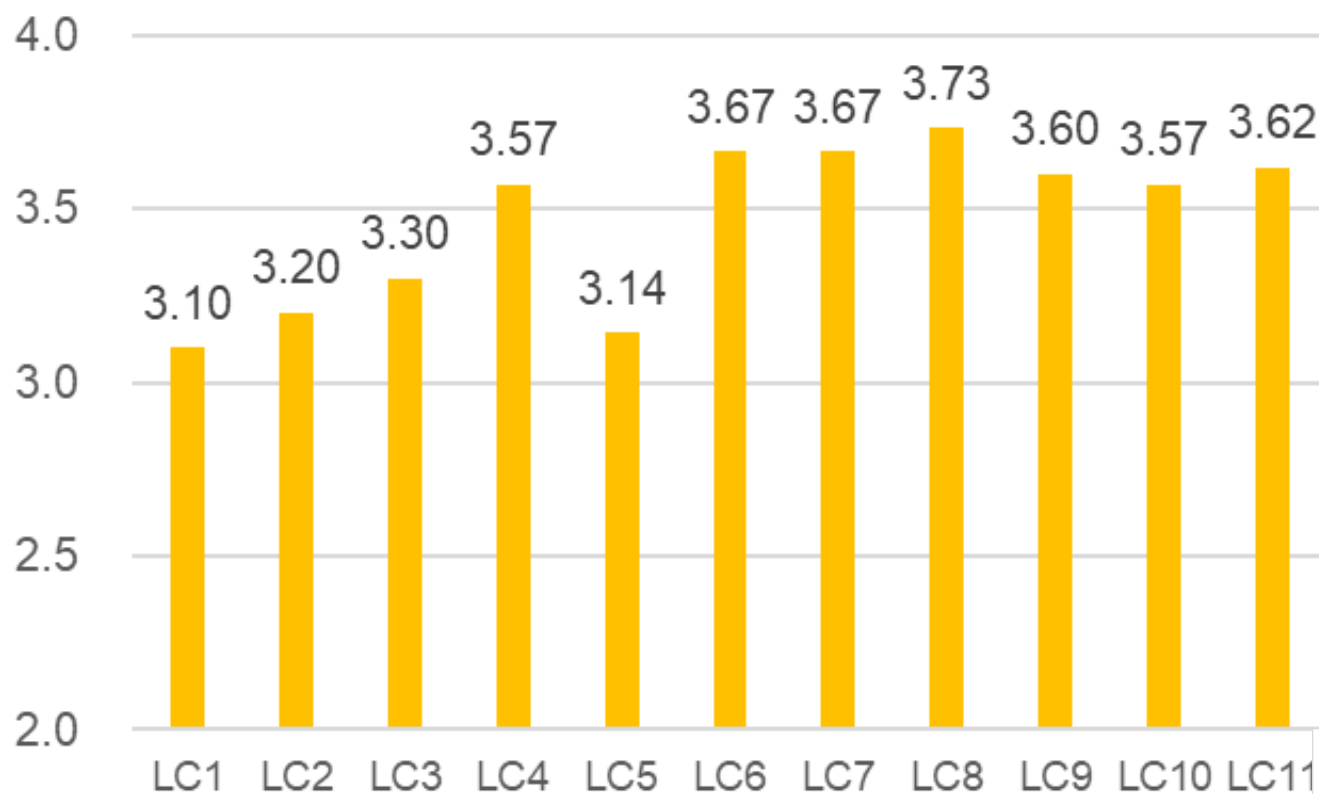
前年



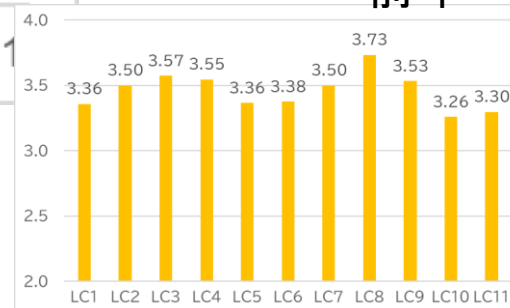
「学修成果別成長実感」の平均値(L学科)

身についたかどうかの自己評価(4段階)

L学科学修成果 (平均値)



前年



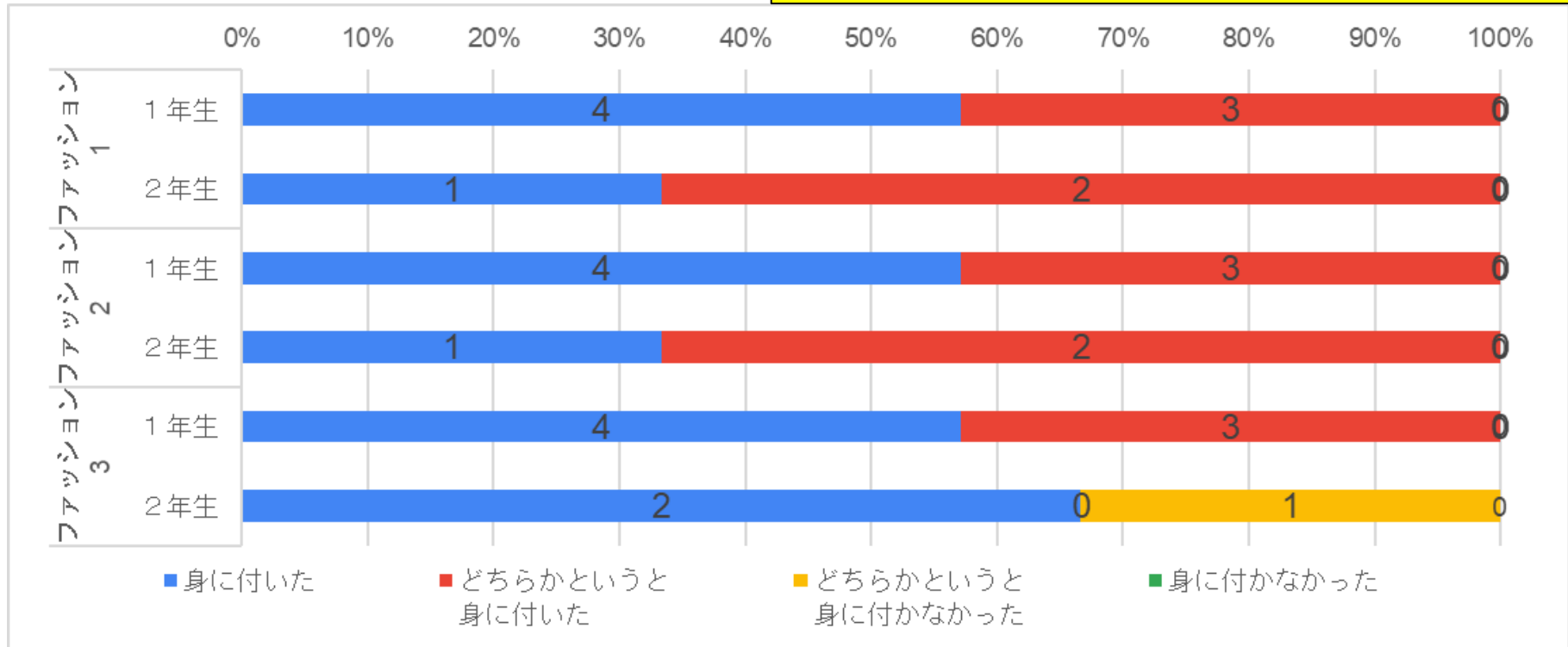
「学修成果別成長実感」の平均値(L学科)

身についたかどうかの自己評価(4段階)

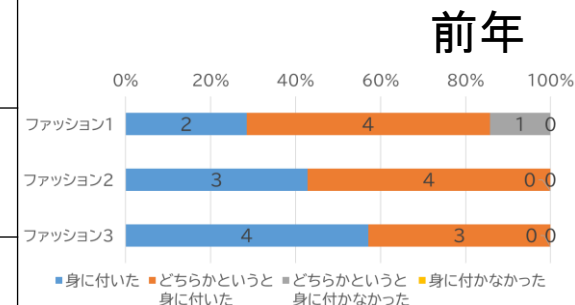
学修成果	平均値	前年	差数	2024n	2023n
LC1	3.10	3.36	-0.26	10	14
LC2	3.20	3.50	-0.30	10	14
LC3	3.30	3.57	-0.27	10	14
LC4	3.57	3.55	0.03	7	11
LC5	3.14	3.36	-0.22	7	11
LC6	3.67	3.38	0.29	6	8
LC7	3.67	3.50	0.17	6	8
LC8	3.73	3.73	0.00	15	15
LC9	3.60	3.53	0.07	15	15
LC10	3.57	3.26	0.31	21	27
LC11	3.62	3.30	0.32	21	27

「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)

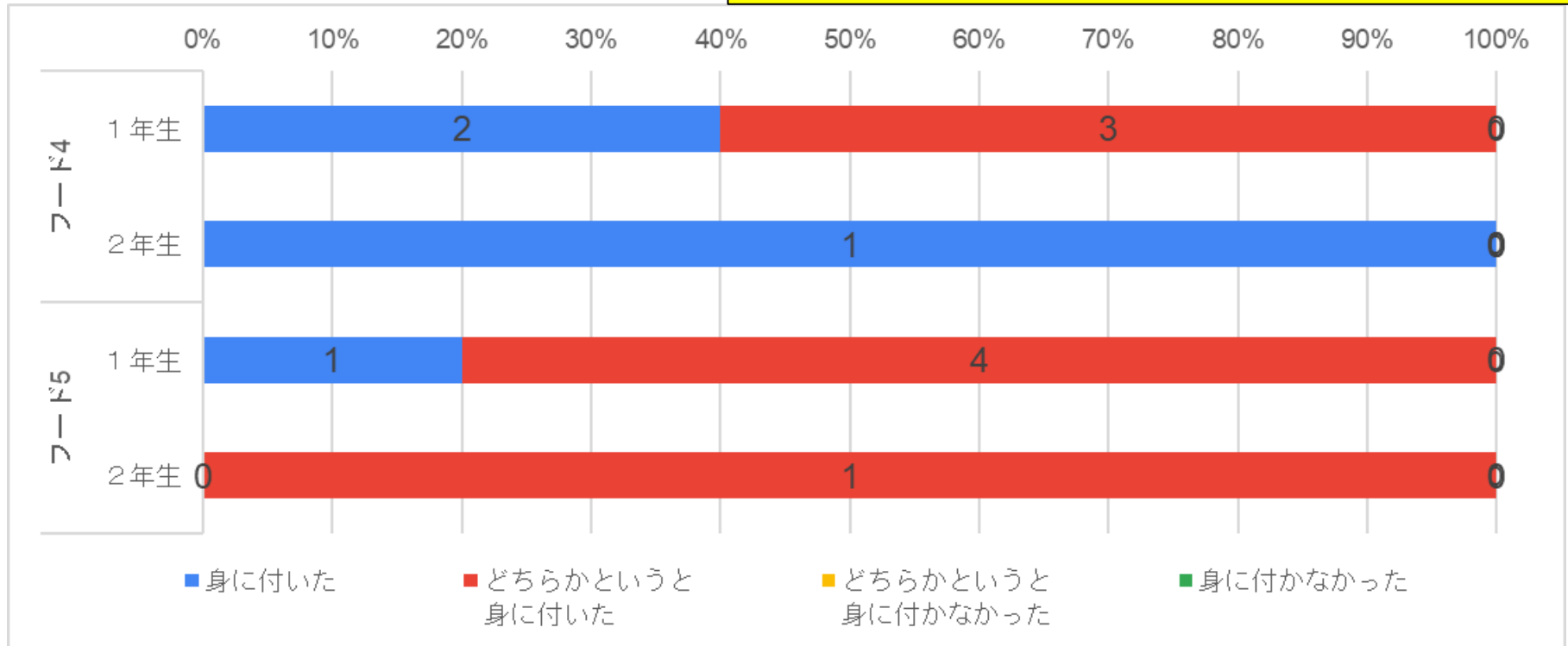


LC1	[アパレル業界で働くために必要な知識を身につけている。]
LC2	[販売職・サービス職に必要なおもてなしの心、ビジネスマナーを身につけている。]
LC3	[チームで働くための協調性、様々なお客様に対応できる対応力などを身につけている。]



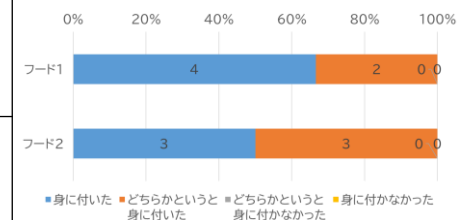
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



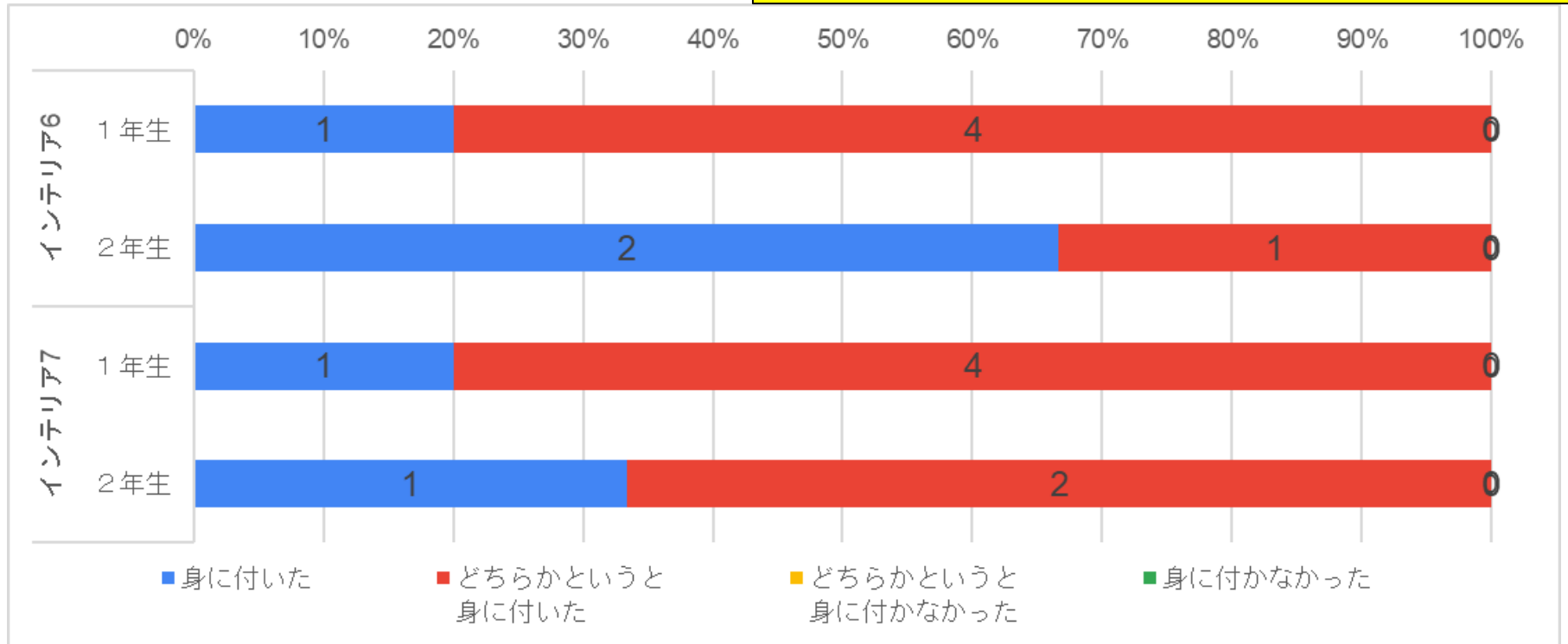
前年

LC4	[食に関する幅広い知識と技能を身につけている。]
LC5	[食の知識を活用する仕事に求められるホスピタリティ、コミュニケーションスキルを身につけている。]



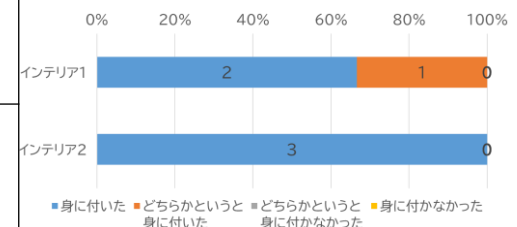
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



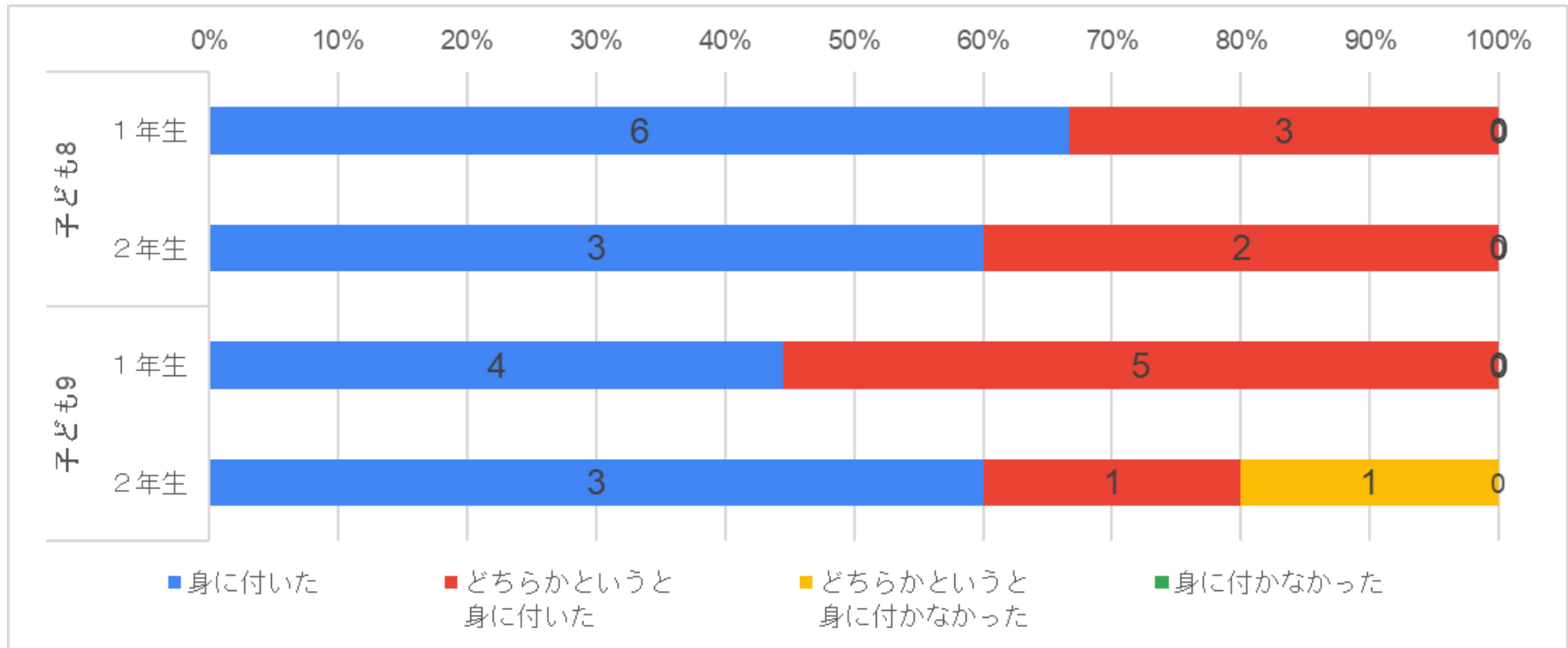
LC7	[快適な住まいや安全な住環境の知識を身につけている。]
LC8	[戸建て住宅、マンションなど生活空間の企画提案ができる。]

前年



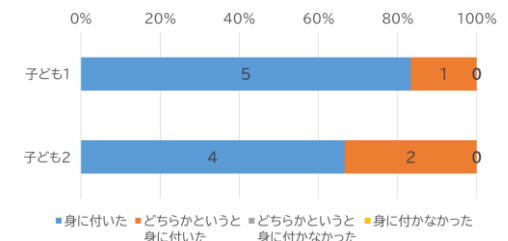
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



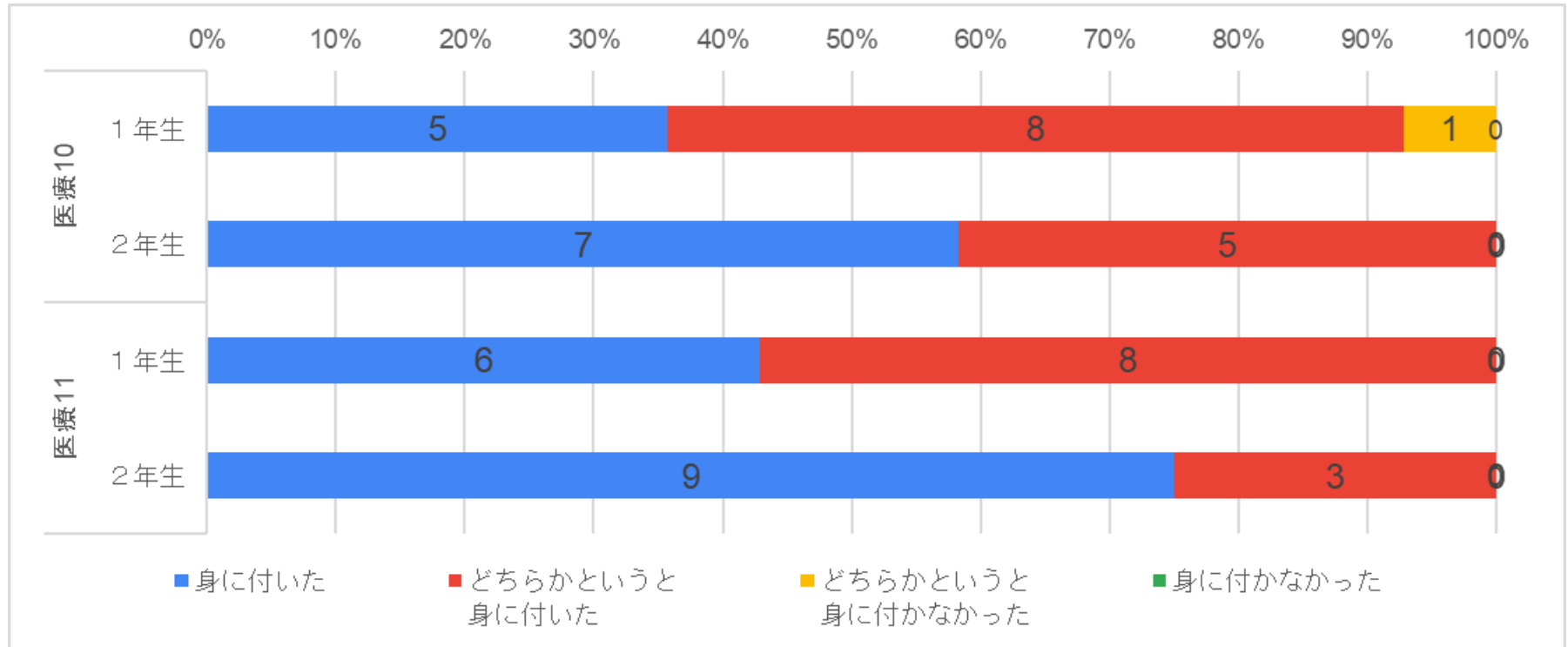
前年

LC9	[子どもと家族のあり方を総合的に理解し、子どもと家族を対象とした仕事に必要な知識を身につけている。]
LC10	[子どもとその家族に対するコミュニケーションスキルを身につけている。]



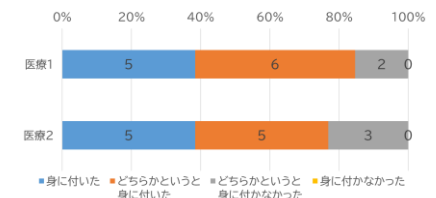
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



前年

LC1 2	[医療事務や医療情報に関する知識を身につけている。]
LC1 3	[医療従事者に求められる職業倫理、ホスピタリティ、コミュニケーションスキルを身につけている。]



その他に、特に身に付けたい
能力や資質

身に付けたい資質・能力(B学科、抜粋)

- MOS検定
- コミュニケーション能力
- 文書作成スキル
- Webデザイナー検定

身に付けたい資質・能力(L学科、抜粋)

- インテリア計画の力
- 空間把握能力
- メイク能力
- 韓国語
- コミュニケーション能力
- 子どもに関係する資格をもっと取りたい
- 手話
- Excel
- 色々な法律の知識

身に付けたい資質・能力(P学科、抜粋)

- 乳幼児の救急救命など
- リーダーシップ
- オムツ替えや調乳などの実技類をもっと深く学び、安全に行えるようにしたい。

まとめ(教育課程検討に向けて)

- 特徴がみられた部分について、各学科・コースで分析を
- 「学修成果」についても定期的に点検・見直しが必要
 - 具体的に評価可能な項目になっているか？
 - 学生が理解できる表現になっているか？
 - カリキュラムマップで科目との関連付けが正しく行われているか？ 等

EOF